

第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画 ニーズ調査結果報告書 【概要版】

平成31年1月

小樽市

目 次

1	子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施	1
2	就学前児童を対象としたニーズ調査の結果	
2. 1	お子さんと家族の状況について	1
2. 2	子どもの育ちをめぐる環境	2
2. 3	母親の就労状況について	3
2. 4	父親の就労状況について	4
2. 5	お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	5
2. 6	お子さんの土曜日・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	6
2. 7	お子さんの病気の際の対応	7
2. 8	お子さんの不定期な教育・保育事業や、宿泊を伴う一時預かり等の利用	8
2. 9	お子さんの地域子育て支援事業の利用状況	9
2. 10	お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方	10
2. 11	育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について	12
2. 12	市内中心部における「子育てまちなか拠点スペース」について	15
2. 13	その他	16
3	放課後児童クラブ利用児童を対象としたニーズ調査の結果	
3. 1	お子さんと家族の状況について	17

3. 2	お子さんの放課後の過ごし方	17
------	---------------------	----

1 子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施

(1) 調査目的

- 本調査は、「第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画」の策定に当たり、教育・保育事業及び子育て支援事業の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、需要量の見込みなどを算定する基礎資料とするために実施したものです。

(2) 調査対象

- ①小学校就学前児童の保護者 2,000 件
- ②放課後児童クラブ利用児童の保護者 555 件

(3) 調査方法

- 就学前児童の保護者・・・郵送による配布及び回収。
- 放課後児童クラブ利用児童（小学校 1～3 年生対象）の保護者
 - 各所管課から放課後児童クラブを通じて実施。
- 調査期間は、平成 30 年 11 月 1 日～11 月 20 日

(4) 回収結果

- 就学前児童の保護者を対象としたアンケート及び放課後児童クラブ利用児童の保護者を対象としたアンケートの配布数と回収結果は以下のとおり。

	送付数	回収数	回収率
①就学前児童の保護者	2,000	890	44.5%
(参考) 平成 25 年 11 月調査時	2,000	888	44.4%
②放課後児童クラブ利用児童の保護者	555	476	85.8%
(参考) 平成 25 年 11 月調査時	508	412	81.1%

2 就学前児童を対象としたニーズ調査の結果

2. 1 お子さんと家族の状況について

問 1 お住まいの地区

お住まいの地区は、「朝里地区」(26.6%) が最も多く、次いで「南小樽地区」(16.7%)、「山手地区」(16.1%)、「長橋・オタモイ地区」(10.7%)、「中央地区」(10.1%) となった。

【H25 調査】朝里地区(26.7)、山手地区(15.1)、南小樽地区(13.9)、長橋・オタモイ地区(11.9)、中央地区(11.7)

問 2 お子さんの年齢

お子さんの年齢は、0 歳、4 歳、5 歳が 18%前後、1 歳～3 歳が 15%前後となった。

【H25 調査】0 歳～5 歳 それぞれ 16%前後

問3 お子さんのきょうだいの数（あて名のお子さんを含めた人数）

きょうだいの数は「1人」（42.1%）が最も多く、次いで「2人」（39.2%）となった。

【H25 調査】 2人（44.3）、1人（31.0）

問4 回答者

回答者は「母親」が91.6%、「父親」が8.0%となった。

【H25 調査】 母親（93.9）、父親（5.5）

問5 回答者の配偶関係

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が87.5%、「配偶者はいない」が11.6%となった。

【H25 調査】 配偶者がいる（88.3）、配偶者はいない（10.9）

問6 お子さんの子育てを主に行っている方

子育てを主に行っている方は、「父母ともに」（56.6%）が最も多く、次いで「主に母親」（41.6%）となった。

【H25 調査】 父母ともに（56.3）、主に母親（40.2）

2. 2 子どもの育ちをめぐる環境

問7 お子さんを預かってもらえる親戚・知人の有無と預かってもらうことに関する状況

お子さんを預かってもらえる人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」（58.1%）が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」（30.2%）となった。

【H25 調査】 緊急時などに祖父母等（61.1）、日常的に祖父母等（31.4）

「祖父母等の親族に預かってもらえる」方の預かってもらうことに関する状況は、「祖父母等の負担を心配することなく、安心して預けられる」（49.3%）が最も多く、次いで「祖父母等の身体的負担がとて心配である」（28.2%）、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（25.8%）、「祖父母等の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」（22.8%）となった。

【H25 調査】 安心して（48.4）、心苦しい（27.9）、身体的負担が心配（27.8）、時間的制約等が心配（24.8）

「友人・知人に預かってもらえる」方の預かってもらうことに関する状況は、「友人・知人の負担を心配することなく、安心して預けられる」（45.6%）が最も多く、次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（32.4%）、「友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」（16.9%）となった。

【H25 調査】 安心して（47.7）、心苦しい（26.2）、時間的制約等が心配（22.1）

問8 子育てについて気軽に相談できる人（場所）の状況

子育てについて気軽に相談できる人（場所）の有無は、「いる（ある）」が95.1%、「いない（ない）」が4.7%となった。

【H25 調査】 いる・ある（95.8）、いない・ない（4.1）

子育てについて気軽に相談できる人（場所）が「いる（ある）」方の相談相手（場所）は、「祖父母等の親族」（81.6%）が最も多く、次いで「友人や知人」（73.0%）となった。また、「保育士」（25.3%）や「幼稚園教諭」（18.1%）も、やや多くなった。

【H25 調査】 祖父母等（83.5）、友人・知人（75.6）、保育士（22.0）、幼稚園教諭（16.7）

2. 3 母親の就労状況について

問9① 母親の就労状況と就労日数・時間

母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（32.0%）が最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（30.9%）、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（22.7%）となった。

【H25 調査】 就労していない（38.9）、パート等休業中ではない（25.9）、フルタイム休業中でない（21.5）

1週当たりの就労日数は、「5日」（59.8%）が最も多く、次いで「4日」（15.0%）となった。

【H25 調査】 5日（60.0）、6日（20.7）、4日（9.5）

1日当たりの就労時間は、「8時間」（29.7%）が最も多く、次いで「6時間」（15.3%）、「5時間」（14.6%）となった。

【H25 調査】 8時間（29.6）、5時間（15.3）、6時間（14.7）

問9② フルタイムへの転換希望（パート・アルバイト等で就労している方）

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」（62.5%）が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、1年以内に実現できる見込みはない」（27.7%）となった。

【H25 調査】 パート・アルバイト等を続ける（49.4）、転換希望はあるが見込みない（31.3）

問9③ 就労希望（現在就労していない方）

現在就労していない方の就労希望は、「1年以上先に就労したい」（43.7%）が最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（29.6%）となった。また、「1年以上先に就労したい」と回答した方の希望する就労時期は、一番下の子どもが「3歳」になったころ（26.6%）が最も多い。

【H25 調査】 1年先以上に（51.1）、1年以内に（22.7）、一番下の子が「3歳」（27.8）

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」方の希望する就労形態は、「パート、アルバイト等（フルタイム以外）」が81.9%、「フルタイム」が13.8%となった。また、希望する就労時間は、1週当たり「4日」（36.4%）、1日当たり「5時間」（48.1%）が最も多い。

【H25調査】パート・アルバイト等（78.7）、フルタイム（16.0）、1週当たり「5日」（46.8）、1日当たり「5時間」（44.7）

2. 4 父親の就労状況について

問10① 父親の就労状況と就労日数・時間

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない」が86.6%と圧倒的に多く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は0.8%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は0.4%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は0.2%となった。

「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「これまで就労したことがない」はともに該当者なし。

【H25調査】フルタイム休業中でない（87.6）、就労していない（1.6）、パート等休業中でない（0.9）、フルタイム休業中（0.1）

1週当たりの就労日数は、「5日」（47.7%）が最も多く、次いで「6日」（41.3%）となった。1日当たりの就労時間は「8時間」（40.4%）が最も多く、次いで「10時間以上」（32.9%）となった。

【H25調査】1週当たり「6日」（50.4）、「5日」（39.9）、1日当たり「10時間以上」（40.9）、「8時間」（34.9）

問10② フルタイムへの転換希望（パート・アルバイト等で就労している方）

パート・アルバイト等で就労している方（4名）のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望はあるが、1年以内に実現できる見込みはない」が2名、「フルタイムへの転換希望があり、1年以内に実現できる見込みがある」が1名となった。

【H25調査】〔パート等就労8名のうち〕転換希望あるが見込みない（6名）、見込みあり（1名）、パート・アルバイトを続ける（1名）

問10③ 就労希望（現在就労していない方）

現在就労していない方（7名）の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が4名、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1名となった。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」方（4名）の希望する就労形態は、「フルタイム」が3名となった。

【H25調査】〔就労していない14名のうち〕1年以内に（11名）、就労予定なし（1名）、1年以上先に（1名）、〔1年以内に就労11名のうち〕フルタイム（10名）

2. 5 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問11 お子さんの現在の幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業の利用状況

お子さんの現在の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が66.7%、「利用していない」が32.8%となった。

【H25調査】利用している(70.0)、利用していない(28.9)

問11① お子さんが平日に利用している教育・保育事業

「定期的な教育・保育事業を利用している」方の実際に利用している教育・保育事業は、「認可保育所」(43.1%)が最も多く、次いで「幼稚園」(31.3%)、「認定こども園」(14.5%)、「幼稚園の預かり保育」(9.1%)となった。

【H25調査】認可保育所(43.2)、幼稚園(41.0)、幼稚園の預かり保育(7.9) 認定こども園(2.6)

問11② 平日に利用している教育・保育事業の現在の利用時間と希望する利用時間

利用開始時間と終了時間についてみると、利用開始時間は現在・希望とも「7時30分～8時29分」が多く、終了時間は現在・希望とも「16時31分～17時59分」が多い。

【H25調査】〔開始時間〕(現在・希望とも)9時～9時29分、

〔終了時間〕(現在)14時～14時29分、(希望)15時～15時29分

問11③ 現在、利用している教育・保育事業の実施場所

「定期的な教育・保育事業を利用している」方の現在利用している教育・保育事業の実施場所は、「小樽市内」が97.1%、「小樽市外」が1.5%となった。

【H25調査】市内(95.5)、市外(1.6)

問11④ 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由

「定期的な教育・保育事業を利用している」方の理由は、「子育てをしている方が現在就労している」(72.1%)が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」(56.1%)となった。

【H25調査】教育・発達のため(60.9)、就労している(58.4)

問11⑤ 平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由

「定期的な教育・保育事業を利用していない」方の理由は、「子どもがまだ小さいため」(64.0%)が最も多く、次いで「利用する必要がない」(34.6%)となった。

「子どもがまだ小さいため」と回答した方について、子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えているか尋ねた結果、「3歳」(50.3%)が最も多く、次いで「1歳」(26.7%)となった。

【H25調査】子どもが小さい(58.0)、利用する必要がない(42.0)、子どもが「3歳」(40.9)、「4歳」(32.2)

問12 平日の教育・保育事業で定期的に利用したい事業

現在の利用有無にかかわらず平日の教育・保育事業で「定期的に」利用したい事業は、「幼稚園」(53.7%)が最も多く、次いで「認可保育所」(42.0%)、「認定こども園」(35.1%)、

「幼稚園の預かり保育」(30.3%)となった。

【H25 調査】幼稚園(59.5)、認可保育所(34.7)、幼稚園の預かり保育(28.5)、認定こども園(15.8)

問12① 幼稚園利用の希望

幼稚園又は保育所等を利用したい方のうち幼稚園の利用を強く希望する方が77.0%となった。

問12② 教育・保育事業を利用したい場所

教育・保育事業を利用したい場所は、「小樽市内」が81.7%、「小樽市外」が4.8%となった。

「小樽市外」を希望する理由としては、「利便性(距離が近いなど)」(36.6%)が最も多く、次いで「勤務地が小樽市以外である」(22.0%)となった。

【H25 調査】市内(91.2)、市外(3.6)

2. 6 お子さんの土曜日・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

問13 お子さんの土・日・祝日、長期休暇中(春・夏・冬休み等)の定期的な教育・保育事業の利用希望

① 土曜日

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」(41.0%)が最も多く、次いで「月1~2回利用したい」(31.3%)、「ほぼ毎週利用したい」(21.3%)となった。

【H25 調査】利用する必要はない(51.0)、月1~2回(25.2)、毎週利用したい(18.0)

② 日曜日・祝日

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」(65.3%)が最も多く、次いで「月1~2回利用したい」(20.4%)、「ほぼ毎週利用したい」(5.8%)となった。

【H25 調査】利用する必要はない(70.2)、月1~2回(16.8)、毎週利用したい(4.8)

③ 土曜日・日曜日・祝日にたまに利用したい理由

土曜日あるいは日曜日・祝日に「月1~2回利用したい」方のたまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」(56.0%)が最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(45.4%)、「息抜きのため」(36.6%)となった。

【H25 調査】仕事が入るため(59.6)、用事をまとめて済ませるため(39.0)、息抜きのため(34.2)

④ 長期休暇中(幼稚園利用者のみ)

長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「週に数日利用したい」(52.3%)が最も多く、次いで「ほぼ毎日利用したい」(25.4%)、「利用する必要はない」(17.6%)となった。

【H25 調査】週に数日利用したい(40.7)、利用する必要はない(31.8)、ほぼ毎日利用したい(23.3)

⑤ 長期休暇中（幼稚園利用者のみ）にたまに利用したい理由

長期休暇中に「週に数日利用したい」方のたまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」（48.5%）が最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（35.6%）、「息抜きのため」（35.6%）となった。

【H25 調査】用事をまとめて済ませるため（41.0）、息抜きのため（41.0）、週に数回仕事が入る（33.3）

2. 7 お子さんの病気の際の対応

問 1 4 お子さんの病気やケガで特別な対応をとる必要があったか。

この1年間にお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できず特別な対応をとる必要があったかについては、「あった」が72.2%、「なかった」が23.9%となった。

【H25 調査】あった（64.6）、なかった（31.4）

特別な対応をとる必要があった方の対処方法は、「母親が休んだ」（87.2%）が最も多く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」（34.3%）となった。

【H25 調査】母親が休んだ（73.9）、親族等にみてもらった（44.5）

「父親が休んだ」「母親が休んだ」「親族・知人に子どもをみてもらった」「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」と回答した方の具体的な日数についてみると、いずれも「1～5日」が最も多く、次いで「6～10日」となった。

【H25 調査】（H30と同じ傾向）

問 1 4 ① 病児・病後児保育事業を利用したいと思ったか。

対処方法として、「父親あるいは母親が休んだ」方の病児・病後児保育事業の利用意向は、「できれば利用したいと思った」が34.5%、「利用したいと思わなかった」が64.2%となった。

【H25 調査】利用したいと思った（40.3）、思わなかった（55.9）

病児・病後児保育事業を「できれば利用したいと思った」方の希望日数は、「1～5日」（50.8%）が最も多く、次いで「6～10日」（20.0%）となった。また、希望する事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（77.7%）が最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園、保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」（54.6%）となった。

【H25 調査】〔希望日数〕1～5日（46.5）、6～10日（22.0）

〔希望する事業形態〕小児科併設施設（76.4）、幼稚園・保育園等併設施設（46.5）

病児・病後児保育事業を「利用したいとは思わなかった」方の理由は、「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」（57.0%）が最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」（55.8%）となった。

【H25 調査】仕事を休んで対応（55.7）、他人に看ってもらうのは不安（55.1）

2. 8 お子さんの不定期的な教育・保育事業や、宿泊を伴う一時預かり等の利用

問15 私用、親の通院、不定期的就労等の目的で不定期的に利用している事業はあるか。

不定期的に利用している事業については、「利用していない」が83.4%となり、「幼稚園の預かり保育」が9.0%とやや多くなった。

【H25調査】利用していない(83.2)、幼稚園の預かり保育(11.5)

「一時預かり保育」「幼稚園の預かり保育」「ファミリーサポートセンター」と回答した方の実際に利用している日数は、いずれも「1～5日」が多くなった。

【H25調査】(H30と同じ傾向)

問15① 利用していない理由

「利用していない」方の理由は、「特に利用する必要がない」が76.3%と多くなり、「利用料がかかる・高い」が16.4%とやや多くなった。

【H25調査】利用する必要ない(75.6)、利用料がかかる・高い(21.7)

問16 私用、親の通院、不定期的就労等の目的で事業を利用したいか。

不定期的な事業の利用希望は、「利用したい」が39.4%、「利用する必要はない」が54.8%となった。

【H25調査】利用したい(38.1)、必要ない(58.0)

「利用したい」方の理由は、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」(71.5%)が最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」(53.3%)となった。

【H25調査】私用・リフレッシュ目的(67.8)、冠婚葬祭や通院等(61.2)

利用したい理由別の希望利用日数は、「私用・リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」「不定期的就労」では、「1～5日」が最も多かった。

【H25調査】(H30と同じ傾向)

問16① お子さんを預ける場合、望ましい事業形態

「利用したい」方が望む事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業(例：幼稚園・保育所等)」(69.2%)が最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業(例：地域子育て支援拠点等)」(41.9%)となった。

【H25調査】大規模施設で保育(71.0)、小規模施設で保育(36.7)

問17 保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことがあったか。

保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)でお子さんを泊りがけで家族以外にみて

もらわなければならなかったことについては、「あった」が17.1%、「なかった」が79.6%となった。

【H25 調査】あった (25.2)、なかった (72.5)

家族以外にみてもらわなければならなかったことが「あった」方の対処方法は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が75.7%と多くなり、「仕方なく子どもを同行させた」が20.4%とやや多くなった。また、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」「仕方なく子どもを同行させた」と回答した方の日数はいずれも「1~5泊」が多かった。

【H25 調査】親族・知人 (81.3)、子どもを同行 (17.9) 【日数】いずれも1~5泊

2. 9 お子さんの地域子育て支援事業の利用状況

問18 地域子育て支援拠点事業の利用状況

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用している」が10.9%、「利用していない」が87.9%となった。

地域子育て支援拠点事業の利用回数は「月に1~3回」が最も多い。

【H25 調査】利用している (15.7)、利用していない (83.2)

【回数】1週・1月当たりとも1回が多い

問19 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望

地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望は、「これから利用したい」が13.5%、「利用日数を増やしたい」が5.5%、「特に希望はない」が76.7%となった。

「これから利用したい」「利用日数を増やしたい」と回答した方の利用希望回数は、「月に1~3回」(39.6%)が多い。

【H25 調査】利用したい (14.1)、日数増やしたい (7.0)、希望無し (72.2)

【回数】1週当たり1回、1月当たり1回、2回、4回が多い

問20 各事業の認知度、これまでの利用経験、今後の利用希望

① 認知度

「知っている」は、「母親・両親教室」(67.0%)、「こんにちは赤ちゃん訪問」(79.2%)、「保育所一般開放」(73.3%)、「子育て支援センター事業」(75.3%)で多い。

一方で、「知らない」は「杜ひろランド」(62.1%)で多い。

【H25 調査】〔知っている〕母親・両親教室 (74.3)、こんにちは赤ちゃん訪問 (76.9)、保育所一般開放 (76.1)、子育て支援センター事業 (78.7)

〔知らない〕杜ひろランド (47.2)

② これまでの利用経験

これまで「利用経験がある」は、「こんにちは赤ちゃん訪問」(58.8%)、「子育て支援センター事業」(35.6%)で多い。

一方で「利用経験がない」は、「テレホン育児相談」(82.9%)、「杜ひろランド」(82.4%)、

「産後ケア事業」(80.4%)で多い。

【H25 調査】〔利用経験ある〕こちには赤ちゃん訪問(59.9)、子育て支援センター事業(39.9)
〔利用経験ない〕テレホン育児相談(79.4)、杜ひろランド(77.1)

③ 今後の利用希望

今後の「利用希望がある」は、「児童館・児童センター」(42.2%)が多い。

一方で「利用希望がない」は、「母親・両親教室」(71.6%)で多い。

【H25 調査】〔利用希望ある〕児童館・児童センター(41.0) 〔利用希望ない〕母親・両親教室(69.8)

2. 10 お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方

問21 お子さんが小学校低学年(1~3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいか。

小学校低学年のうち放課後過ごさせたい場所は、「自宅」(54.1%)が最も多く、次いで「放課後児童クラブ」(50.0%)、習い事(35.1%)となった。

【H25 調査】自宅(58.6)、放課後児童クラブ(48.3)、習い事(31.7)

「自宅」「習い事」「放課後児童クラブ」と回答した方の1週当たりの利用希望日数は、「自宅」では「5日」(32.5%)、「習い事」では「2日」(38.5%)、「放課後児童クラブ」では「5日」(56.8%)が最も多かった。

【H25 調査】自宅「5日」(32.9)、習い事「1日」(43.5)、放課後児童クラブ「5日」(58.6)

また、「放課後児童クラブ」と回答した方の利用希望時間は、下校時から「17時まで」(48.6%)が最も多く、次いで「18時まで」(18.9%)となった。

【H25 調査】(下校時から)「18時~18時29分」(31.4)、「17時~17時29分」(28.6)

問22 お子さんが小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいか。

小学校高学年になったら放課後過ごさせたい場所は、「自宅」(77.0%)が最も多く、次いで「習い事」(48.6%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(20.3%)、「その他(図書館、公園など)」(21.6%)、「放課後児童クラブ」(17.6%)となった。

【H25 調査】自宅(80.7)、習い事(54.5)、祖父母宅や知人宅等(40.0)、放課後児童クラブ(26.9)、その他(19.3)

「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」「放課後児童クラブ」と回答した方の1週間当たりの利用希望日数は、「自宅」では「3日」(29.8%)、「祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」(53.3%)、「習い事」では「2日」(33.3%)、「放課後児童クラブ」では「5日」(38.5%)が最も多かった。

【H25 調査】自宅「5日」(25.6)、祖父母や知人宅等「1日」(36.2)、習い事「2日」(31.6)、放課後児童クラブ「5日」(35.9)

また、「放課後児童クラブ」と回答した方の利用希望時間は、下校時から「17時まで」(46.2%)が最も多く、次いで「16時まで」(15.4%)、「18時まで」(15.4%)となった。

【H25 調査】(下校時から)「17時~17時29分」(28.2)、「16時~16時29分」(17.9)、「18時~18時29分」(17.9)

問23 土曜日、日曜日・祝日、長期休業期間(春・夏・冬休み)中の放課後児童クラブの利用希望(問21または問22で「放課後児童クラブ」を選択した方)

① 土曜日

土曜日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」(50.0%)が最も多く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用したい」(21.1%)となった。

利用したい時間帯は、1~3年生では開始時間「8時~8時59分」(4名)、終了時間「17時~17時59分」(3名)が最も多い。

【H25 調査】1~3年生の間利用(39.2)、利用する必要ない(31.1)

〔利用したい開始時間〕1~3年「9時~9時29分」(11名) 〔終了時間〕「17時~17時29分」(11名)

② 日曜日・祝日

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」(68.4%)が最も多く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が10.5%となった。

利用したい時間帯は、1~3年生では開始時間「8時~8時59分」(3名)、終了時間「17時~17時59分」(2名)が最も多い。

【H25 調査】利用する必要ない(56.8)、1~3年生の間利用(14.9)

〔利用したい開始時間〕1~3年生「8時~8時29分」(5名)、「9時~9時29分」(5名)

〔終了時間〕17時~17時29分(6名)

③ 長期休業期間

長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」(50.0%)が最も多く、次いで「高学年(4年生)まで利用したい」(18.4%)、「高学年(6年生)まで利用したい」(15.8%)となった。

利用したい時間帯については、開始時間が1~3年生では「9時~9時59分」(9名)、4年生では「8時~8時59分」(4名)、6年生では「8時00分~8時59分」(4名)が最も多く、終了時間が1~3年生では「17時~17時59分」(12名)、4年生では「17時~17時59分」(4名)、6年生では「17時~17時59分」(3名)が最も多い。

【H25 調査】1~3年生の間利用(45.9)、6年生まで利用(23.0)、4年生まで利用(13.5)

〔利用したい開始時間〕1~3年生「8時~8時29分」(13名)、4年生「8時~8時29分」(8名)、6年生「8時30分~8時59分」(7名)

〔終了時間〕1~3年生「17時~17時29分」(14名)、4年生「18時以降」(6名)、

6年生「18時以降」(5名)

2. 1 1 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

問24 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得したか。

① 母親

育児休業の取得状況は、「働いていなかった」(49.9%)が最も多く、次いで「取得した(取得中である)」(33.1%)となった。

【H25調査】働いていなかった(57.9)、取得した(取得中)(20.7)

「取得していない」方の取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」(39.2%)が最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(17.7%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(16.2%)となった。

【H25調査】子育て等に専念のため退職(32.4)、職場に育児制度がなかった(就業規則に定めなし)(24.4)、育児休業を取りにくい雰囲気があった(23.9)

② 父親

育児休業の取得状況は、「取得していない」が86.9%と圧倒的に多かった。

【H25調査】取得していない(86.0)

「取得していない」方の取得していない理由は、「仕事が忙しかった」(36.6%)が最も多く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(31.6%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(27.6%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(25.5%)となった。

【H25調査】仕事が忙しかった(38.0)、制度を利用する必要がなかった(33.5)、育児休業を取りにくい雰囲気があった(28.4)、収入減となるため(26.2)

問25 育児休業取得後、職場に復帰したか。

① 母親

育児休業を「取得した(取得中である)」方の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が70.2%と圧倒的に多い。

【H25調査】取得後復帰(79.3)

② 父親

育児休業を「取得した(取得中である)」方の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が66.7%となった。

【H25調査】取得後復帰(69.2)

問26① 育児休業から職場復帰したタイミング

① 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」方の職場復帰のタイミングは、「年度初めの保育所入所のタイミングだった」が32.4%、「それ以外だった」が67.6%となった。

【H25調査】年度初めの保育所入所時(19.9)、それ以外(77.4)

② 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」方の職場復帰のタイミングは、「それ以外だった（年度初めの保育所入所のタイミング以外）」が100%となった。

【H25 調査】年度初めの保育所入所時（11.1）、それ以外（88.9）

問26② 職場復帰したのは、お子さんが何歳何ヶ月のときか。希望としては育児休業を何歳何ヶ月まで取りたかったか。

① 母親

職場復帰した時期は、子どもが「1歳～1歳6ヶ月未満」（36.7%）が最も多く、次いで「6ヶ月～1歳未満」（31.4%）となった。

希望する育児休業の取得期間は、「1歳～1歳6ヶ月未満」（40.1%）が最も多く、次いで「2歳以上」（19.8%）となった。

【H25 調査】6ヶ月～1歳未満（34.9）、1歳～1歳6ヶ月未満（32.2）、（希望する育児休業）1歳～1歳6ヶ月（42.5）、2歳以上（19.2）

② 父親

職場復帰した時期は、子どもが「6ヶ月未満」が7名、希望する育児休業の取得期間は、子どもが「6ヶ月未満」が8名となった。

【H25 調査】6ヶ月未満（4名）、（希望する育児休業）6ヶ月未満（3名）

問26③ 希望時期に職場復帰しなかった理由

① -1 【希望より早く復帰した方】（母親）

希望より早く復帰した理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」（43.2%）が最も多く、次いで「希望する保育所に入るため」（26.1%）、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」（22.5%）となった。

【H25 調査】経済的な理由（47.9）、人事異動等の時期に合わせるため（32.9）、希望する保育所に入るため（19.2）

① -2 【希望より早く復帰した方】（父親）

（該当者なし）

【H25 調査】経済的な理由（2名）

② -1 【希望より遅く復帰した方】（母親）

希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が5名となった。

【H25 調査】体調が思わしくなかった（1名）

② -2 【希望より遅く復帰した方】（父親）

（該当者なし）

【H25 調査】職場の受け入れ態勢が整ってなかった（1名）

問26④ 職場の制度として、育児休暇が3歳まで取得できる場合、希望としては何歳何ヶ月まで取りたかったか。

母親では、「2歳以上～3歳未満」(31.4%)が最も多く、次いで「1歳～1歳6ヶ月未満」(25.6%)となった。

父親では、「1歳～1歳6ヶ月未満」が3名、「6ヶ月未満」、「1歳6ヶ月～2歳未満」が2名となった。

【H25調査】(母親)3歳以上(34.9)、1歳～1歳6ヶ月(22.6)、(父親)6ヶ月未満(22.2)、3歳以上(22.2)

問26⑤ 育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を利用したか。

① 短時間勤務制度を利用しましたか(母親)

短時間勤務制度の利用状況は「利用した」(36.7%)が最も多く、次いで「利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」(33.3%)、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともとフルタイムだった)」(28.0%)となった。

【H25調査】利用しなかった(できなかった)(35.6)、利用した(30.1)、利用する必要がなかった(29.5)

② 短時間勤務制度を利用しましたか(父親)

短時間勤務制度の利用状況は「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともとフルタイムだった)」が8名、「利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が1名となった。

【H25調査】利用する必要がなかった(3名)、利用した(2名)、利用しなかった(できなかった)(1名)

問26⑥ 短時間勤務制度を利用しなかった理由

① 短時間勤務制度を利用しなかった理由(母親)

短時間勤務制度の利用状況は「利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」方の理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(58.0%)が最も多く、次いで「仕事が忙しかった」(34.8%)、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦くなる」(33.3%)となった。

【H25調査】取りにくい雰囲気があった(53.8)、忙しかった(48.1)、経済的に苦くなる(42.3)

② 短時間勤務制度を利用しなかった理由(父親)

短時間勤務制度の利用状況は「利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」方の理由は、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦くなる」が1名となった。

【H25調査】配偶者が育児休業や短時間勤務制度を利用した(1名)

問27 お子さんが1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか。

① 母親

「現在も育児休業中である」方の子どもが1歳になった時に必ず利用できる事業がある場合の1歳になるまでの育児休業の取得希望は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が80.7%となった。

【H25調査】1歳になるまで育児休業を取得したい(90.0)

② 父親

「現在も育児休業中である」方の子どもが1歳になった時に必ず利用できる事業がある場合の1歳になるまでの育児休業の取得希望は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が1名となった。

【H25調査】該当者なし

2. 12 市内中心部における「子育てまちなか拠点スペース」について

問28 「子育てまちなか拠点スペース」が整備された場合、利用するか。

「子育てまちなか拠点スペース」が整備された場合の利用意向は、「目的により利用すると思う」(49.1%)が最も多く、次いで「利用しないと思う」(26.1%)となった。

利用する理由は「子どもを連れて外出する際に便利だと思うため」(76.7%)が最も多く、次いで「買い物や用事の際に一時的な託児を希望するため」(41.2%)、「市内中心部へ外出する際に便利だと思うため」(36.5%)となった。

利用しない理由は、「あまり興味を引かれないため」(50.4%)が最も多く、次いで「市内中心部には、あまり出かけないため」(28.4%)となった。

【H25調査】目的により利用(48.1)、利用しない(22.6)、

〔利用する理由〕子どもを連れての外出に便利(75.7)、買い物等の際の一時的な託児希望(38.0)、便利だと思うため(36.4)

〔利用しない理由〕興味を引かれない(40.8)、市内中心部にあまり出かけない(31.3)

問29 市内中心部に「子育てまちなか拠点スペース」を設けた場合、具体的な事業についてどのような内容を期待するか。

期待する内容は、「授乳・おむつ替えのスペースの設置」(63.8%)が最も多く、次いで「買い物などの際の、子どもの一時的な預かり先の整備」(50.7%)、「買い物などの際のベビーカーの貸出し」(40.4%)、「親子での交流や情報交換が出来る場所の整備」(27.4%)となった。

【H25調査】街なかにぎわいのためのイベントの開催(42.9)、ベビーカーの貸出し(39.6)、

地域のコミュニティスペースとして年代を問わず利用(34.8)、保健師や保育士による子育て相談(30.2)

2. 13 その他

問30 理想と考える子どもの人数

理想と考える子どもの人数は、「2人」(51.5%)が最も多く、次いで「3人」(37.8%)、「4人以上」(6.3%)となった。

問31 子どもの実際的人数(これからの予定も含む)と理想の人数を比べた場合について

実際の子どもの人数と理想の人数では、「理想の人数より少ない」(51.2%)が最も多く、次いで「理想の人数と同じ」(42.1%)となった。

実際の子どもの人数と理想の人数が同じ又は多い理由については、「きょうだいがいたほうが、子どものために良い」(79.4%)が最も多く、次いで「配偶者から子育ての協力が得られる」(34.9%)となった。

理想人数より少ない理由は、「子育てや教育にかかる費用が高い」(54.6%)が最も多く、次いで「出産や子育てをする年齢に不安がある」(37.7%)、「子育てと仕事の両立が難しい」(32.5%)となった。

問32 本市の子育て環境や支援への満足度について

本市の子育て環境や支援への満足度は、「満足度が低い」(23.5%)、「満足度がやや低い」(33.0%)となり、半数以上が満足度中間「3」よりも低かった。

問33 小樽市が、今より子育てしやすいまちとなるためにはどのようなことが重要か。

子育てしやすいまちになるため重要なことは、「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」(63.9%)が最も多く、次いで「保育所や幼稚園の費用や教育費の負担軽減」(62.5%)、「小児科救急医療体制の充実」(59.9%)、「医療に係る費用の負担軽減」(49.2%)となった。

問34 子育てに関する情報の入手先について

子育てに関する情報の入手先については、「広報おたる」(37.6%)が最も多く、次いで「SNS」(29.6%)、「テレビ・ラジオ」(22.8%)、「新聞」(20.2%)となった。

子育て支援の取組についてのご意見

子育て支援の取組についてのご意見を尋ねたところ、432件の意見が得られ、「行政の子育て支援サービス」239件、「生活環境(住宅、道路、公園、公共交通機関、公的建築物など)」137件、「保育所・幼稚園などの保育環境等の整備」37件、「労働環境(働きやすい環境づくり、育児休業等の制度の充実など)」5件、「その他」14件となった。

3 放課後児童クラブ利用児童を対象としたニーズ調査の結果

3. 1 お子さんと家族の状況について

問1 回答者

回答者は「母親」が95.4%、「父親」が3.6%となった。

【H25】母親（95.1）、父親（4.6）

問2 回答者の配偶関係

回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」が76.5%、「配偶者はいない」が23.1%となった。

【H25】配偶者がいる（72.6）、配偶者はいない（26.7）

問3 お住まいの地区

お住まいの地区は、「朝里地区」（29.2%）が最も多く、次いで「山手地区」（14.1%）、「南小樽地区」（13.2%）、「長橋・オタモイ地区」（13.0%）となった。

【H25 調査】朝里地区（25.0）、山手地区（17.7）、中央地区（12.6）、南小樽地区（11.7）、長橋・オタモイ地区（11.4）

問4 お子さんが通っている小学校

お子さんが通っている小学校は、「朝里小学校」（15.5%）が最も多く、次いで「山の手小学校」（11.3%）、「幸小学校」「桜小学校」（7.6%）、「潮見台小学校」「望洋台小学校」（6.5%）、「奥沢小学校」（6.3%）となった。

【H25 調査】朝里小学校（10.0）、桜小学校（9.2）、花園小学校（7.8）、稲穂小学校（7.5）

問5 お子さんの学年

お子さんの学年は、「1年生」（42.0%）が最も多く、次いで「2年生」（34.9%）、「3年生」（22.5%）となった。

【H25 調査】1年生（43.4）、2年生（33.3）、3年生（22.6）

3. 2 お子さんの放課後の過ごし方

問6 放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごす場所（小学校1～3年生）

① 現在、過ごしている場所

お子さんが現在、放課後の時間を過ごしている場所は、「放課後児童クラブ」（98.5%）が最も多く、次いで「自宅」（46.4%）、「習い事」（39.5%）となった。

【H25 調査】放課後児童クラブ（98.1）、習い事（32.8）、自宅（30.3）

「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」「放課後児童クラブ」と回答した方の1週間当たりの利用日数は、「自宅」では「1日」(33.5%)、「祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」(37.0%)、「習い事」では「1日」(36.2%)、「放課後児童クラブ」では「5日」(45.2%)が最も多かった。

【H25調査】自宅「1日」(36.8)、祖父母や友人宅等「1日」(41.8)、習い事「2日」(38.5)、放課後児童クラブ「5日」(53.7)

「放課後児童クラブ」と回答した方の下校時からの利用時間は、「16時まで」(34.8%)が最も多かった。

【H25調査】16時~16時29分(25.2)

② 希望として過ごさせたい場所の日数

希望として過ごさせたい場所として、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」「放課後児童クラブ」と回答した方の1週間当たりの希望利用日数は、「自宅」では「2日」(24.4%)、「祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」(25.9%)、「習い事」では「1日」(29.3%)、「放課後児童クラブ」では「5日」(27.9%)が最も多かった。

【H25調査】(1週当たりの希望の日数)自宅「1日」「2日」(28.6)、祖父母や知人宅等「2日」(39.6)、習い事「2日」(42.6)、放課後児童クラブ「5日」(44.4)

「放課後児童クラブ」と回答した方の下校時からの利用希望時間は、「17時まで」(19.2%)、次いで「16時まで」(18.8%)が多かった。

【H25調査】16時~16時29分(21.0)

問7 放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごす場所(小学校4~6年生)

小学校高学年時、希望として放課後に過ごさせたい場所は、「自宅」(60.1%)が最も多く、次いで「放課後児童クラブ」(48.9%)、「習い事」(48.1%)となった。

【H25調査】自宅(54.6)、習い事(51.5)、放課後児童クラブ(46.6)

「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」「放課後児童クラブ」と回答した方の1週間当たりの希望利用日数は、「自宅」では「2日」「3日」「5日」がいずれも2割以上、「祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」「2日」(33.7%)、「習い事」では「2日」(39.3%)、「放課後児童クラブ」では「5日」(29.2%)が最も多かった。

【H25調査】自宅「2日」「3日」「5日」(2割以上)、祖父母や知人宅等「2日」(36.4)、習い事「2日」(46.7)、放課後児童クラブ「5日」(36.5)

「放課後児童クラブ」と回答した方の下校時からの利用希望時間は、「17時まで」(30.0%)が最も多かった。

【H25調査】17時~17時29分(23.4)

問8 土曜日、日曜日・祝日、長期休業期間（春・夏・冬休み）中の放課後児童クラブの利用希望について

小学校1～3年生の期間及び小学校4～6年生の期間に放課後を「放課後児童クラブ」で過ごしている（過ごさせたい）と回答した方の土曜日、日曜日・祝日、長期休業期間（春・夏・冬休み）中の放課後児童クラブの利用希望は以下のとおり。

土曜日は「利用する必要はない」（39.1％）が最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（17.0％）となった。また、利用したい時間帯の利用開始時間は、「8時～8時59分」「9時～9時59分」が多く、終了時間は「18時～18時59分」「17時～17時59分」が多かった。

【H25調査】利用する必要はない（42.5）、1～3年生の間利用（15.1）

〔利用したい開始時間〕8時～8時29分、8時30分～8時59分、9時～9時29分

〔終了時間〕17時～17時29分、18時以降

日曜日・祝日は「利用する必要はない」（58.4％）が最も多く、次いで「低学年（1～3年生）まで利用したい」（6.5％）、「高学年（6年生）まで利用したい」（3.4％）となった。また、利用したい時間帯は「1～3年生」では、利用開始時間は「8時～8時59分」「9時～9時59分」が多く、終了時間は「17時～17時59分」「16時～16時59分」が多かった。「6年生」では、利用開始時間は「8時～8時59分」が多く、終了時間は「18時～18時59分」が多かった。

【H25調査】利用する必要はない（61.7）、6年生まで利用（6.7）、1～3年生の間利用（5.7）

〔利用したい開始時間（1～3年生）〕8時～8時29分、8時30分～8時59分、〔終了時間〕18時以降

〔利用したい開始時間（6年生）〕8時～8時29分 〔終了時間〕18時以降

長期休業期間は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（29.8％）が最も多く、次いで「高学年（4年生）まで利用したい」（20.4％）、「高学年（6年生）まで利用したい」（18.7％）となった。また、利用したい時間帯は「1～3年生」では、利用開始時間は「8時～8時59分」「9時～9時59分」が多く、終了時間は「17時～17時59分」「16時～16時59分」が多かった。「4年生」では、利用開始時間は「8時～8時59分」「9時～9時59分」が多く、終了時間は「17時～17時59分」「18時～18時59分」が多かった。「6年生」では、利用開始時間は「8時～8時59分」が多く、終了時間は「18時～18時59分」「17時～17時59分」が多かった。

【H25調査】6年生まで利用（28.1）、1～3年生の間利用（25.4）、4年生まで利用（20.7）

〔利用したい開始時間〕8時～8時29分 〔終了時間〕17時～17時29分、18時以降

放課後児童クラブについてのご意見

放課後児童クラブについてのご意見を尋ねたところ、183件の意見が得られ、放課後児童クラブ全般の意見として、「開設時間・日数について」38件、「利用料金について」6件、「活動の内容について」44件、「施設・設備・体制について」29件、「おやつ代・内容について」18件、「その他（放課後児童クラブについて）」45件、「その他（児童館等について）」の意見が3件となった。

**第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画
ニーズ調査結果報告書**

【概要版】

平成31年 1月

発行 小樽市(福祉部子育て支援室こども育成課)
〒047-8660 北海道小樽市花園2丁目12番1号
電話 0134-32-4111